

夏休みラジオ体操 終わる



今年も「夏休みラジオ体操」が8月31日(土)に終わりました。今年は暑い日がつづきましたが、雨で中止になることは1度もなく、全日程20日間を事故もなく終わることができました。

ラジオ体操は毎年、その年の6年生の有志が中心になって運営されています。今年の6年生リーダーは例年以上に美しく元気の良い体操ができるようになりました。小学生がここまでできるようになるのはちょっと驚きです。ラジオ体操が上手になっても別に得をすることはありませんが、夏休みに努力してラジオ体操が1,000人の前でもできるようになったことは、リーダーのみなさんには大きな自信になったと思います。

来年もラジオ体操は7月後半を美浜打瀬小のグラウンドで、8月後半を打瀬小のグラウンドで20日間の予定で行われます。たくさんの方の参加をお待ちします。【松村】



今年のラジオ体操には過去のラジオ体操リーダー経験者の中学生6人もサポーターとして参加してくれました。写真右端のA君は小6のときから毎年全日程を皆勤賞でお手伝いしています。ありがとうございます。



8月最後の2日間にはこれまで10年以上続けられたラジオ体操の過去の写真が貼り出され、ミニラジオ体操展が開かれました。

打瀬中女子が水泳で全国制覇

全国中学校体育大会の水泳競技で打瀬中学校女子が50m、100m自由形の2種目を制覇。この話を聞いたのは大会のあった翌日、8/24の朝でした。

ほんとうかな。何かの間違いじゃないのかな。最初はそんな感じで聞いていました。というのも打瀬中学校はこれまでこの種の全国大会では、まだ名前を聞くのも珍しい新しい学校です。それがいきなりの全国制覇。しかも競泳の花形、自由形での日本一です。

さっそく家に帰ってインターネットで調べてみると、ありました。「持田早智 千葉打瀬中」。間違いなく打瀬中の2年生女子です。早速中学に電話して、持田さんに連絡をとってもらいインタビューに行ってきました。【松村】

自宅で迎えてくれた早智さんは長身で短い髪がとてもボーイッシュな感じの女の子でした。身長は165cmということでしたが、競泳をやっているからかとても肩幅が広く、ちょっと会っただけではとても中学生とは思えない第一印象です。

早智さんが優勝した全国中学校体育大会は「全中」と呼ばれ、文字通り全国の中学生が集まる国内最高の大会です。中学の大会なので3年生の出場もあり、2年生には厳しい大会だと思うのですが、その中で見事な2種目制覇です。



実は早智さんはこの他にもうひとつの全国大会でも優勝しています。全中の直後に行われた水泳連盟主催の全国大会「ジュニアオリンピック」です。こちらでも早智さんは50m、100mの自由形で優勝し全中と合わせて4個の金メダルを獲得しています。こんなすごい子が打瀬中にいたんだ。

早智さんが水泳をはじめたのは幼稚園の年長の頃。当時住んでいた大阪のスィミングクラブでした。きっかけは「友達がやっていたから」と言うことでしたが、お母さんによると周囲が進めたのではなく自分で

やりたいと言い出したので通わせたということでした。小学校に入る頃、いいタイムが出るようになったので競技クラスに入ることを進められ、少し本格的に泳ぐようになったそうです。

ベイタウンに住むようになったのは小学校3年生から。スィミングクラブは競泳のクラスがある「ルネサンス」に入り、現在のコーチと出会ったそうです。それでもまだ「楽しく続けられれば…」と、とても全国で競うというほどの強い気持ちはなかったといいます。

中学生になると全国大会がはじまり、一気に全国の強豪と同じプールでタイムを競うことになります。でも中学1年で参加した昨年の全中では予選敗退。「校長先生には栃木まで来ていただきましたが、30秒で終わってしまいました」とお母さんは少し申し訳なさそうに話していました。その悔しさがあってか、今年は全中とジュニアオリンピックの金メダルです。

インタビューに応じてくれる早智さんはボーイッシュな髪型もあり、とても爽やかなスポーツウーマンという感じでした。これだけの成績を出すと僕などはすぐ「将来はオリンピック？」などと聞いてしましますが、「楽しく続けられれば…」と話す早智さんはあくまで自然体。まだまだ大きな伸びしろを感じさせてくれました。

ベイタウンにオナガがやってきた

昨日の夕方、部屋の窓から見える隣の棟の屋上に見慣れない鳥がやってきました。逆光なので最初は色がよく分からず、大きさから中庭の樹林に巣を作っている「ヒヨドリ」かなと思っていましたが、ヒヨドリにしては尻尾が長く、鳴き声もヒヨドリのような高い声ではなく、もっと低い声でギーギーと鳴いていました。

もしかして「オナガ」と思ってネットでオナガの鳴き声を聞くとまちがいはなく同じ鳴き声でした。あまり住宅地では見ない野鳥だと思っていたのですが、説明によると最近では住宅地でも見られるようになったとのこと。

このときは1羽だけで来ていましたが、オナガは小さな群れで行動することが多く、そのうち何羽か一緒に来てくれるだろうと思ってカメラを準備して待っていると、ある朝早く5羽ほどの群れでやってきました。写真はそのときのものです。よく見ると1羽はまだ産毛らしきものが残っているので、どうやらこの春に生まれた若鳥のようです。

このときはオナガが鳴くそばで、カラスの声もよく聞かれました。カラスが鳴くとすぐにオナガが鳴き返すという具合で、どうやら張り合っているようです。実はオナガはカラスの仲間で、一見優雅な姿に似合

わず攻撃的で、カラスと同じように知恵も高いとのことでした。

オナガが留まっているこの場所は周辺であたりを見回せる高い位置で、オナガの他にカラスやヒヨドリもよく来ます。テリトリーを確保するのに丁度いい場所らしく鳥たちにとっては戦略上大事な場所のようです。

オナガはこの近くでは海浜幕張公園ではよく見ましたが、最近ではベイタウンも街路樹が大きくなり住みやすくなったのかもしれない。ベイタウンの街路樹にはヤマモモやエゴノキなど野鳥が好みそうな実をつける木がたくさんあります。

コンクリートジャングルと言われるベイタウンですが、私たちが考える以上に緑が増え、鳥たちにとっては住みよい街になっているのかも知れません。

思いがけずささやかなバードウォッチングの楽しみを味わわせてくれたオナガ君ですが、しばらくするとこの場所には姿を見せなくなりました。そして2、3日たったある朝早く、聞き慣れたあの「ギーギー」という声が聞こえます。鳴き声につられて行ってみるとコア近くの樹林に4羽ほどの群れが見つかりました。どうやら同じ群れで街のなかをあちこちエサを求めてか移動

しているようです。

このオナガがベイタウンで巣作りをして定住するのか、あるいは海浜幕張公園などを含めた広範囲なテリトリーのなかでエサのある季節にだけやってくるのか、しばらく観察してみたいと思います。【松村】



(写真上) 窓から見える建物の屋上に留まったオナガ。右側の1羽が産毛の混じる若鳥。(写真下) コア付近の樹林の中で見つけたオナガ。恐らく同じ群れと思われる。



ベイタウン働く女性の仕事 12 大学講師

今月紹介する「あすかさん」は心理学が専門の大学の専任講師。30代後半で文系の学部の専任講師のポストを得られたことは非常に幸運だという。オーバードクターを経て現在に至ったあすかさんの道を紹介する。【金】

あすかさんの職場は八王子にある大学だ。自宅から片道2時間半の通勤はまったく苦にならず、むしろ考え事をしたり文書に目を通したりできる貴重な時間になっている。

小さい時からアガサ・クリスティーの作品やシャーロックホームズなどの推理小説が大好きだったこともあり、都内の大学で心理学を専攻したあすかさんは、心理学の中でも特に犯罪心理学に興味を持った。

専門を生かせる職場が見つからなかったこと、就職氷河期をやり過ごす目的で大学院への進学を決めたので、まさか学問の路を目指すことになるとは思いませんでした。修士課程だけでは何となく学業が中途半端な気がして、博士課程も修了したが、文系のオーバードクターには就職の募集が少なく、気がつけば収入がほぼゼロの失業者状態になっていた。

超難関である大学の教員のポストは、文系、理系を問わず「研究命」くらいの気合がないとなかなかチャンスは巡ってこない。業績が教員採用の基準である場合は、同じ業績ならば出産や産休で休む可能性がある女性よりも男性が優先され、一般的に年齢も若い方が有利とされているから、大学で職を得る為とにかく論文をたくさん書いて少しでも業績を重ねるように努力した。

一時は中学受験の進学塾の講師と、大学の非常勤講師を掛け持ちし国語を教えたが、進学塾は週3回夜の時間帯を拘束され、授業の準備では忘れかけた勉強のやり直しなどで、実際の授業時間の4倍の準備時間がかかっていた。

非常勤講師の方は週に3回それぞれ違う大学に通っていたが、長時間移動しなければならぬ肉体的な疲れと、教える環境の違いからくるストレスと、意外にかかる国民年金、健康保険料、そして奨学金の返済の負担に泣けてきた。年取で200万円強にしかならない講師の収入の低さに、生活のため塾のバイトを副業とす

る人が多いが、塾の専任講師になればそこそこの水準の収入を得ることが出来るので、妻子ができてしまうと、そのまま塾の正社員になってしまう人も多かったという。

今の大学には、自分の専攻を活かせる新しい学部ができたこと、当初予定されていた人材が外国の大学への路を選んだこと、そして女性の教員数を増やそうとしていた大学側の募集方針もあって運よく専任講師になることが出来た。少子化の影響で大学の経営が厳しくなっている環境の中、これだけの幸運が重なることは非常に稀なケースである。

教育制度上、最高学府である大学だが、教員免許が必要な小・中・高校とは違い、実は大学の教員になるためには何も資格を必要としない。それは「みなし公務員」である国公立大学の職員でも同じである。

大学教員には、学生を指導すると同時に自分の研究を行うため、学問を究めたいという気持ちのある人が向いている。この職業の良いところは、自分の好きな研究ができ、その研究をもとに授業を行うことが出来て、お給料がもらえるという点と、時間に比較的縛られず、仕事の裁量権があり、頑張れば誰でも最先端の研究を行うことができる点である。

反対に難しい点としては、外的強制がないので、自ら目標を立てて、道を切り開く独立心と自制心が必要である。

仕事は研究・事務・教育の三本立てが基本だ。研究では、データをとり分析し、それを論文にしたり、学会で発表したり、場合によっては本にする。教育では、講義を行ったり、実習をしたり、学部生や院生の論文指導を行ったりしている。そして学内では、学部や学科のさまざまな運営を行う会合にも参加している。

あすかさんから若い人へのメッセージ

研究者になりたい人は小さいときから世の中を良く観察するようになった方が良いと思う。ゲーム機を持ち歩いて遊んでいて、その世界だけにハマっている人もいるが、それは大変もったいない事だと思う。面白い目標と発見に繋がるものは、自分の価値観と勘を働かせて考え出さなくてはならないので、できるだけ外に出かけいろいろな人と会うようにし、美しい自然や環境にもっと目を向け、豊かな感性を磨いて欲しい。

探検！ 幕張ベイタウン

夏の休日を利用して、幕張ベイタウンの探検に出かけてみました。なぜ突然、探検なのか？ 経緯としてはこんな感じです。8月の配布会の後、「編集会議？」で「味岡さん、1/2ページよろしくね。幕張ベイタウンの中って全部知らないでしょ？ 良い機会だから、公園巡りでもしてみよ」の提案を貰い、確かに幕張ベイタウンって全部知ってる訳ではないな、この機会に「我が町」を探検してみるのも悪くないな、と言う事でこの探検を始めました。

参考までに、私の幕張ベイタウンとの関わり方を書いておくと、2003年に引越して来て、会社は東京、子どもは近所の学校には通っていない、という非常に淡泊な係わり合いです。地域の商店街は、せいぜい

リンコスとヤンマーと写真屋さん、あとはチンタンくらいしか利用せず、辛うじて図書館を使う程度の、いわゆる、「寝に帰ってくる」程度のお付き合いです。でも、自分の住んでる町にこの程度の係わり合いかしてない人って割りと多いのではないかと思います。

と言う訳で、自転車で探検に出発です。私の家は、京葉線の線路の近くなので、ベイタウン北端側の住人です。今回は、南へ向かいます。まずは、東端の花見川通りの出で、南に向かいます。図書館よりも南側に行くと、もう、ほぼ「知らない街」です。そのままずんずん進むと、マンションの建設現場に行き着きました。重機が間近で働いていて、なかなか男気のある景色です(写

真1)。以前、話題になった工場萌えとか、港湾萌えに近い感覚でしょうか。海浜大通りに着いて、西に向かいます。同じ工事現場も、見る角度が変わると景色が変わります(写真2)。それにしても、吹いている風が海風です。ここまで来ると、海が近いです。と、ここで急にかみなりと雨です。自転車の進路を北に変えます。打瀬第七公園(写真3)も初めて来ました。芝生がきれいです。正に、「となりの芝生」だ。でも、きれいだけど、何も無いな…。雨が強くなって来たので探検はもうおしまいで、家に帰ります。幕張ベイタウンは相当に広いですが、急いだら端から端まで自転車で10分程度です。皆さんも、時間が有る時に、普段、行かない地域を探検してみたいかでしょうか？ 素敵な発見があるかも知れませんよ。【味岡】



写真1



写真2



写真3

「読んで作って絵本と遊ぼう」

『あらしのよるに』の作者木村裕一さんと
絵本の読み聞かせ・工作を楽しみます。

(打瀬分館子ども読書まつり)

日時：10月13日(日) 午前10:00～12:00

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

対象：4歳児から大人

定員：150名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料

申込：来館または往復はがきで9月18日(水)まで

詳細・問い合わせ 打瀬分館 TEL:272-4646

ベイタウンでカブトムシを発見

7月のことですが、ラジオ体操が終わって帰る途中、海浜打瀬小のピロティ付近の植え込みでカブトムシを見つけました。大きなツノを持った立派なおスです。大きさもそこそこあり、硬い甲の色もツヤがあってとてもきれいでした。

「すごい。ベイタウンでもカブトムシがいるんだ」と一緒にいた人と話しながら手に載せると、昔子どもの頃に味わった昆虫の足でひっかかれる感覚がよみがえるようでした。

でもあのカブトムシはどこから来たんでしょう。いくら緑が増えたといってもベイタウンでカブトムシが育つというのはちょっとありそうにないと思います。近くで子どもが飼っていたのが逃げ出したのかもしれない。【松村】



公民館講座のお知らせ

現代の賢い葬儀のあれこれ

「最近の葬儀の状況」千葉県金融広報委員会 黒田千鶴子先生

日時：9月19日(木) 午後13:30～15:30

対象：成人

定員：先着30名

費用：なし

用意するもの：筆記用具

申し込み：9/2より直接または電話で打瀬公民館まで

TEL:296-5100

メンズぱくぱくキッチンクラブ

野菜たっぷりヘルシーメニューはメタボ予防にも
パパが作る野菜たっぷり簡単おうちごはん

日時：9月28日(土) 午前10:00～13:00

対象：成人

定員：先着12名

費用：500円

用意するもの：エプロン、三角巾、ふきん1枚

申し込み：9/2より費用を添えて直接打瀬公民館まで

育成委員会から

育成委員会では、子育てを語り合う「しゃべり場」を開催します。グループになって「子どもと向き合って思うこと、気になること…」自由にお話いただけます。

打瀬地区にお住まいで小学校、中学校のお子さんと関わりのある方ならどなたでもご参加できます。

何かしらヒントが見つかるかも…

日時：9月24日(火) 10:00～12時頃

場所：ベイタウン・コア 和室

しばらく開発予定の決まらなかった中学校横の空き地部分に 35 階建の超高層を含む 2 棟のマンション計画がまとまり、基礎工事が始まりました。中学校から見ると巨大な基礎工事用の杭打ち機が数台見え、いよいよ工事が始まったことが感じられます。

開発を行うのは三井不動産レジデンス。35 階の超高層棟の他に 8 階建の棟があり合計で約 300 戸の街区が平成 27 年 10 月完成予定です。この街区には同時に最近京葉線沿線でスーパーを展開する成城石井が出店するとの情報もあります。一時はスパ施設や巨大な DIY 施設などの計画が浮かんで消えたベイタウンの南端の空き地がやっと開発されることとなります。

それにしても一時は立ち消えになっていた超高層がベイタウンの南北にできるのは感慨深いものがあります。当初の計画では東西南北 4 隅に超高層の計画があったベイタウン。そのうち半分の南北 2 カ所に超高層が建つことで最初の夢の半分は実現したと見るべきでしょうか。



ベイタウン・コアフェスタが今年も 11/23 (土)、11/24 (日) の 2 日間の日程で行われることが決まりました。昨年と同じようにサークルの展示や発表のほか、コア中庭でのフリーマーケット、模擬店の出店、打瀬中吹奏楽部、幕張総合高校混声合唱部の演奏も予定されています。

詳しいプログラムやフリマなどの応募はベイタウンニュース 10 月号でお知らせする予定です。楽しみにお待ちください。コアフェスタは住民のみなさんのボランティアで運営されています。コアフェスタの運営には沢山の方のご協力が必要です。お手伝いいただける方は是非ご連絡ください。

連絡先：松村 mazmbtn@gmail.com TEL043-211-6853



9月のコア・イベント

9月21日(土) わくわくおはなし会 9月の常設おはなし会

わくわくおはなし会 9月の常設おはなし会
日時：9月21日 第3土曜日 10:30から
場所：ベイタウン・コア講習室

今月もわくわくするお話を用意しておまちしています。年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎
ブログ更新中・見てね** <http://waku.makusta.jp/> **
お問合せ先：井上 (043-211-0188 wak2@yahoo.com)

第120回ファッティオリの会 (コア文化振興基金後援事業)

第120回ファッティオリの会
日時：9月22日(日) 9:30~11:30
場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファッティオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用ご希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。
申込締切：9月15日(日)
申込先：TEL & FAX 276-3878
E-mail : ymogaki@k4.dion.ne.jp (大垣)

9月28日(土) 寺子屋工作ランド

「竹笛」(たけぶえ)
日時：9月28日 第4土曜日 9:30~11:30
場所：ベイタウン・コア工芸室
持ってくるもの：はさみ、小刀、カッターナイフ(大型)など
参加費：50円(保険料)

第21回 住宅ローン 無料個別相談会開催



生涯で大きな支出となる住宅ローンはどこも同じではありません。長期固定返済の場合、1000万円を超える節約ケースも。これまで海浜幕張エリアで 20 回もの相談会の実績を持つ「ノア・ホーム・コンサルティング(株)」では、専門アドバイザーが多様な住宅ローンを中立公平な立場から評価し、適切にアドバイス。相談会は法人ならではのノウハウと信用、責任に基づき実施するので、約 8 割以上の方が【ローンの見直し・借換えを行い無駄な支出が押さえられました】と大好評です。

なんと! 金利 1% 低下で 5 年間短縮! 約 720 万円の節約!

※借入額 3,000 万円、返済期間 32 年、借換え費用差し引き後の場合

参加ご希望の方は必ずご予約下さい

千葉市幕張勤労市民プラザ

9/16(月、祝) 13:00~17:00
9/21(土) 17:00~21:00
9/23(月、祝) 13:00~17:00
10/5(土) 13:00~17:00
10/6(日) 17:00~21:00



いずれかの条件に当てはまる方 借り換えをお奨めします

- ★現在 1.4% 以上の金利
- ★金利上昇が気になる方
- ★返済期間残 15 年以上
- ★月額返済を減らしたい方
- ★残高 1000 万円以上
- ★段階金利が気になる方

要予約

300 回以上の実績!

ノア・ホーム・コンサルティング(株)

平日の 10 時~20 時受付
☎03(3861)8631

ノア・ホーム・コンサルティング 検索